

総務

一 目 統 計

(2町消防事務受託分含む)

消 防 予 算	3, 881, 052, 000 円(市予算 3.9%)
一 般 会 計 総 予 算	98, 138, 000, 000 円
消 防 職 員 定 数	320 人以内
市 職 員 定 数	2, 979 人以内
人 口 (委託2町含む)	331, 255 人

人口の最も多い地区 (四日市市)常磐地区 25, 815 人

人口の少ない地区 (四日市市)水沢地区 3, 532 人

消 防 車 両 等(四日市市)

(常 備) はしご自動車	1台
屈折はしご自動車	1台
化学消防自動車	3台
水槽付ポンプ自動車	6台
消防ポンプ自動車	4台 (救助工作機能付1台含む)
消防ポンプ付給水車	1台
高所放水車	2台 (はしご車兼用1台含む)
泡原液搬送車	2台
救助工作車	2台
高規格救急自動車	9台
救急自動車	2台
その他車両	35台

(非常備) 四日市

消防ポンプ自動車	23台
楠	
水槽付ポンプ自動車	1台
消防ポンプ自動車	5台
可搬式ポンプ積載車	1台

参 考(受託2町非常備)

(朝日町) 消防ポンプ自動車	2台
可搬式ポンプ積載車	4台
(川越町) 消防ポンプ自動車	1台
可搬式ポンプ積載車	11台

平成18年度・19年度消防費歳出予算(当初額)

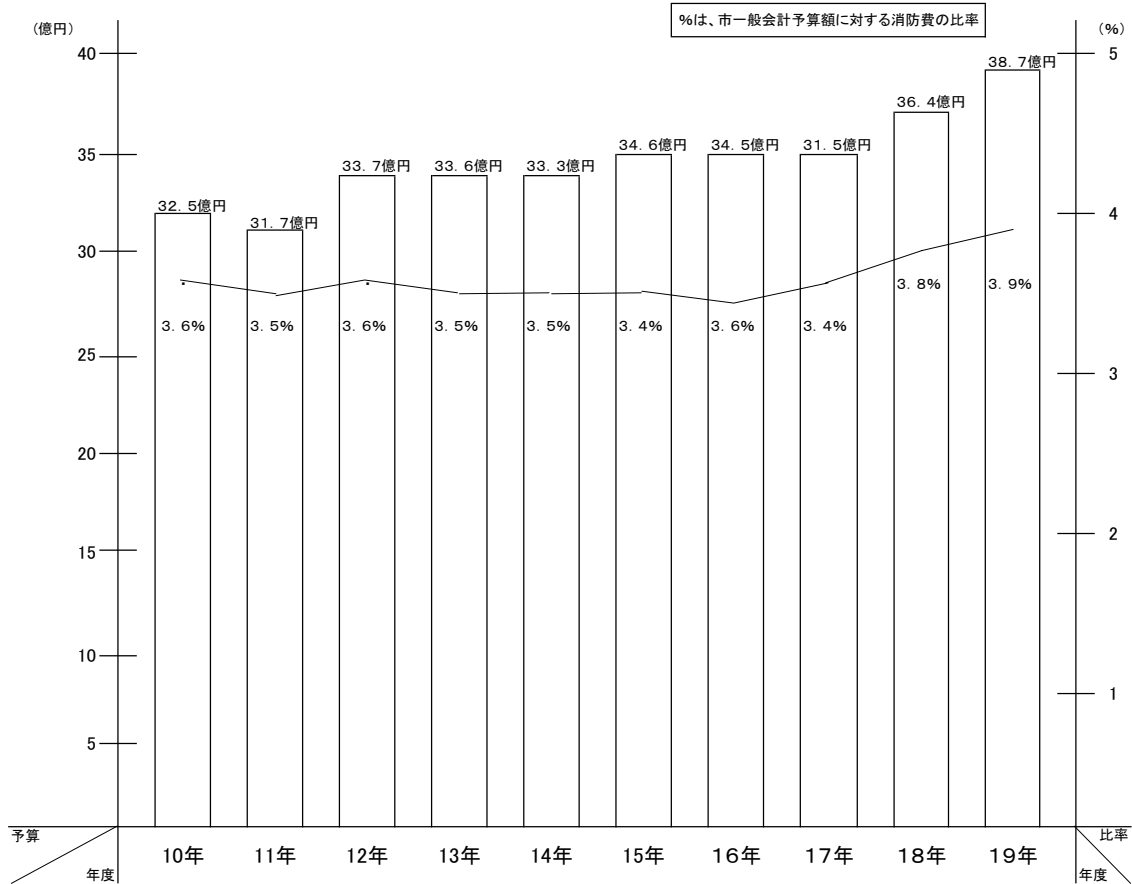
款 項 目	節	平成18年度	平成19年度	比較増△減
消 防 費		3,647,587	3,881,052	233,465
消 防 費		3,647,587	3,881,052	233,465
常備消防費		2,937,208	3,136,414	199,206
	給 料	1,212,524	1,190,368	△ 22,156
	職 員 手 当	1,111,516	1,343,304	231,788
	共済費	329,334	326,286	△ 3,048
	賃金	7,245	8,442	1,197
	報償費	19,690	15,276	△ 4,414
	旅費	5,569	5,734	165
	交際費	100	100	0
	需用費	82,695	90,510	7,815
	役務費	14,424	10,957	△ 3,467
	委託料	80,063	69,915	△ 10,148
	使用料及び賃借料	20,638	16,420	△ 4,218
	工事請負費	0	250	250
	原材料費	336	336	0
	備品購入費	2,018	4,882	2,864
	負担金補助及び交付	24,237	26,815	2,578
	補償補填及び賠償金	26,801	26,801	0
	公課金	18	18	0
非常備消防費		112,041	126,513	14,472
	報酬	16,004	16,004	0
	共済費	1,002	1,002	0
	災害補償費	2,100	2,100	0
	報償費	9,796	9,824	28
	旅費	50,681	52,830	2,149
	交際費	50	50	0
	需用費	11,470	11,891	421
	役務費	665	33	△ 632
	委託料	1,342	1,380	38
	使用料及び賃借料	1,120	1,293	173
	備品購入費	49	11,893	11,844
	負担金補助及び交付金	17,761	18,212	451
	補償補填及び賠償金	1	1	0
消防施設費		594,370	613,224	18,854
	需用費	0	0	0
	役務費	0	0	0
	委託料	24,500	13,100	△ 11,400
	使用料及び賃借料	0	0	0
	工事請負費	62,900	330,235	267,335
	原材料費	0	0	0
	備品購入費	130,370	239,750	109,380
	負担金補助及び交付金	376,600	30,139	△ 346,461
水防費		3,968	4,901	933
	報償費	0	0	0
	旅費	0	0	0
	需用費	1,225	963	△ 262
	委託料	105	105	0
	工事請負費	315	710	395
	原材料費	1,523	1,523	0
	備品購入費	800	1,600	800
	負担金補助及び交付金	0	0	0

消防費に対する人口世帯当り額

	消防費（千円）	人口（人）	世帯	1人当り額（円）	1世帯当り額（円）
平成15年度	3,120,740	296,563	111,045	10,523	28,103
平成16年度	3,142,033	296,959	112,279	10,580	27,984
平成17年度	2,931,135	309,648	118,183	9,466	24,801
平成18年度	3,368,352	310,710	120,273	10,840	28,005
平成19年度	3,654,746	311,904	122,284	11,717	29,887

※ 三重郡朝日町、川越町の消防事務受託関係を除く。

過去10年間の消防費の推移



消 防 職 員 の 推 移

(平成19年4月1日現在)

年 度 別	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	
定 員	292	292	292	310	320	
実 員	消防吏員	292	291	290	300	304
	その他の職員	0	0	0	0	1
	合 計	292	291	290	300	305
消防職員定員増減	-	0	0	+18	+10	

消 防 職 員 特 殊 技 能 資 格 取 得 状 況

(平成19年4月1日現在)

階 級 別 資格種別		合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
自 動 車 免 許	大 型	193		2	4	18	57	80		32
	け ん 引	8					4	3		1
	大 型 特 殊	9					7	2		
自動車整備士		5			1		1	3		
海技士（航海）		2					2			
海技士（機関）		2				1	1			
小型船舶操縦士1級		21		1	2	2	9	5		2
小型船舶操縦士2級		26			1	6	10	7		2
小型移動式クレーン		177			3	12	41	50		71
玉掛資格		259		4	11	28	63	82		71
ガス溶接資格		239			4	19	58	79		79
無 線 技 師	第2級海上特殊無線技士	12			1	2	5	3		1
	レーダー級海上特殊無線技士	6				1	4			1
	第2級陸上特殊無線技士	262		4	9	33	56	88		72
救 急	救急Ⅰ課程	45		7	12	9	14	3		
	救急Ⅱ課程（標準課程含む）	209				20	40	75		74
	救急救命士	34				5	9	12		8
応急手当指導員		290	1	7	12	34	64	90		82
衛生管理者		23		3	7	8	3	2		
第2種酸素欠乏危険作業主任者		43			2	12	18	9		2
潜水士		19					2	10		7

階級別・所属別消防職員配置状況

(平成19年4月1日)

階級別		合	消	消	消	消	消	消	消	消	事務
所属別		計	防	防	防	防	防	防	防	防	吏
			正	監	司	司	司	士	副	士	員
			監	監	長	長	長	長	長	長	
合計		311[2](23)<8>	1	7	12	34[2]	64(2)	90(1)<4>		102(20)<3>	1<1>
消防本部	消防長	1	1								
	次長	2		2							
	政策推進監兼同和行政推進監	1				1					
	小計	33[1](23)<1>		1	1	2[1]	6(2)	2(1)		20(20)	1<1>
	総務課										
	課長	1		1							
	課長補佐	1[1]			1	1					
	総務課付	23(23)					2(2)	1(1)		20(20)	
	総務係	5<1>				[1]	3				1<1>
	装備係	3					1	1	1		
	小計	21			2	4	6	8		1	
	消防救急課										
	課長	1			1						
	課長補佐	2			1	1					
	課付主幹	1				1					
	警防係	15				1	5	8		1	
	地域安全係	2				1	1				
	小計	⑥					①				
	防災センター										
	所長	①					①				
副署長											
所員	⑤										
小計	15[1]<1>		1	1	3[1]	1	8<1>		1		
予保安課											
課長	1		1								
課長補佐	2[1]			1	1						
予防係	3				1		1		1		
保安係	5				1		4				
安全指導係	5<1>				[1]	1	3<1>				
情報指令課											
小計	15			1	4	5	5				
課長	1			1							
課長補佐	3				3						
課付主幹	1				1						
指令係	10					5	5				
消防署	小計	86<3>		1	3	9	18	23<2>		32<1>	
	計	61<3>		1	1	7	12	17<1>		23<1>	
	本署										
	署長	1		1							
	副署長	1			1						
	指導係	5<1>				1	1	2		1<1>	
	消防救助係	42				3	9	13		17	
	救急係	12<2>				3	2	2<1>		5<1>	
	計	23			1	2	5	6		9	
	西分署										
	分署長	1			1						
	副署長	1				1					
	分署員	21				1	5	6		9	
	港分署										
	計	2			1		1				
	分署長	1			1						
	分署員	1					1				
	小計	77<3>		1	3	6	15	24<2>		28<1>	
	北本署										
	計	58<3>		1	1	4	10	19<2>		23<1>	
署長	1		1								
副署長	1			1							
指導係	4				1	1	2				
消防係	43				3	6	13		21		
救急係	9<3>					3	4<2>		2<1>		
計	19			2	2	5	5		5		
朝川分署											
分署長	1			1							
副分署長	1			1							
指導係	2				1		1				
消防係	15				1	5	4		5		
小計	57		1	1	4	11	20		20		
南消防署											
署長	1		1								
副署長	1			1							
指導係	4					2	1		1		
消防係	39				3	6	14		16		
救急係	12				1	3	5		3		
防災指導員(現地要員)											
市長部局へ出向		4				1	2				

()は派遣職員及び消防学校入校予定職員、< >は女性消防吏員をそれぞれ内数で表し、[]は兼務である
○数字は再任用職員及び嘱託職員数

消 防 職 員 年 令 別 分 布

(平成19年4月1日現在)

階級別 年令	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員
合 計	311	1	7	12	34	64	90	0	102	1
18	0									
19	0									
20	3								3	
21	2								2	
22	8								8	
23	8								8	
24	10								10	
25	11								11	
26	6								6	
27	10						4		6	
28	9						1		8	
29	5						1		4	
30	10						5		5	
31	11						3		8	
32	8						4		4	
33	7					1	6		0	
34	9					2	4		3	
35	11					3	7		1	
36	12					2	6		4	
37	8					1	4		3	
38	11						6		5	
39	12					2	8		2	
40	4						3		1	
41	5					4	1			
42	8				6		2			
43	5				1	1	3			
44	3				1		2			
45	8				1	4	3			
46	8				3	4	1			
47	2					1	1			
48	9				4	4	1			
49	5				4		1			
50	12			1	3	3	5			
51	4			1	1	1	1			
52	7				1	3	3			
53	6		1		2		3			
54	5				1	4				
55	6					5				1
56	4				2	2				
57	6		1	1	1	3				
58	17		1	6	1	8	1			
59	15		4	3	2	6				
60	1	1								
61	0									
62	0									

平均年齢 39.8 歳

消防職員勤続年数別分布

(平成19年4月1日現在)

階級別 勤続年数	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員
合計	311	1	7	12	34	64	90	0	102	1
0～1	21								20	1
1～2	14	1							13	
2～3	13								13	
3～4	9		1						8	
4～5	7								7	
5～6	9								9	
6～7	7						1		6	
7～8	7						3		4	
8～9	4						4			
9～10	14						10		4	
10～11	4						3		1	
11～12	11					1	8		2	
12～13	7						7			
13～14	6					1	3		2	
14～15	12					2	8		2	
15～16	27					7	13		7	
16～17	5					2	1		2	
17～18	4					1	2		1	
18～19	3						3			
19～20	0									
20～21	7				3	1	2		1	
21～22	3				1	1	1			
22～23	0									
23～24	3				2	1				
24～25	7				5		2			
25～26	11				3	5	3			
26～27	10				2	6	2			
27～28	12				3	4	5			
28～29	8			2	2	3	1			
29～30	4						4			
30～31	6				4	1	1			
31～32	6			1	2	2	1			
32～33	4			1		2	1			
33～34	0									
34～35	2			1		1				
35～36	5		2		2	1				
36～37	5			1		4				
37～38	13			2	3	8				
38～39	4		1			3				
39～40	7		1	1	1	3	1			
40～41	6		1	2		3				
41～42	4		1	1	1	1				

消防用資機材配置状況

(平成19年4月1日現在)

区分 / 所属	消防本部	中消防署	西分署	港分署	北消防署	朝川分署	南消防署	合計
空気呼吸器		33	11		23	17	20	104
酸素呼吸器		5			7			12
エンジンカッター		1	1		2	1	1	6
高発泡器		1			2		1	4
大容量泡放射砲 (1S)		1			1		1	3
可搬式放水銃		5	2		2		2	11
耐熱服		6			3		6	15
ガス測定器	1	4	1		2	1	3	12
各種測定器	4	1			1		3	9
救命ボート		3			1		1	5
油圧切断機		3			1		1	5
チェーンソー		2			2	1	3	8
ポートパワー		1			1		1	3
救命索発射銃		1	1		2	1	1	6
ガス溶断器		1			2	1	1	5
発動発電機		7	2	2	6	1	4	22
排送風機		2	2	1	3	1	1	10
エアソー		2			1		1	4
救助幕		2			2		1	5
油圧スプレッター		2			1		1	4
マット型空気ジャッキ		7			6		2	15
削岩機		1			1		1	3
耐電衣		2			2		3	7
防毒衣		4			2		10	16
マンホール救助器具		2			1		1	4

高度救助用資機材

画像探索機 1型		1						1
画像探索機 2型		1						1
熱画像直視装置		1			1		1	3
地中音響探知機		1						1
夜間用暗視装置		2						2
エアラインマスク		1						1
地震警報機		1						1
オイルフェンス								
潜水器具					16			16
高圧空気充てん機		1			1			2

救急用資機材配置状況

(平成19年4月1日現在)

区分 / 所属	消防本部	中消防署	西分署	港分署	北消防署	朝川分署	南消防署	合計
AED	1	2	1		4	1		9
AEDトレーナー	1	6			6			13
レサシ 大人	6	6	3		10	4		29
小児	1	1	2		2	1		7
幼児	1	1	1		3	1		7

職員研修実施状況

平成18年度

派遣研修

派遣先	研修科目	研修期間	受講者数
消防大学校	新任消防長研修コース	5/23-6/2	1
	幹部科(3期)	9/13-11/9	1
	警防科(79期)	6/12-8/4	1
	新任教官科科	3/7-3/15	1
三重県消防学校	新任消防長研修(2期)	4/24-4/28	1
	初任科(43期)	4/7-12/5	13
	救急科救急課程(9期)	10/4-11/28	13
	特別科薬剤投与講習	7/31-9/7	2
	警防科警防課程(19期)	2/26-3/9	3
	予防査察科予防査察課程(2期)	12/7-12/20	3
	危険物科危険物課程(10期)	11/13-11/17	3
	救助科救助課程(17期)	10/11-11/10	3
	救急科救急II課程(22期)	1/30-2/22	15
	初級幹部科(28期)	1/15-1/26	3
	救急救命士フォローアップ研修	10/3 12/22	2
	消防士長昇任研修	3/19-3/21	8
	消防司令補昇任研修	3/12-3/14	7
	救急救命士養成所	救急救命九州研修所 新規養成	9/14-3/27
救急救命九州研修所 薬剤投与		7/31-9/1	1
名古屋市救急救命士養成所 新規養成		9/6-3/26	1
市町村アカデミー	三位一体改革と税財政	7/4-7/7	1
	集中改革!官と民の役割分担	7/4-7/7	1
	変革の時代の人事管理と組織づくり	8/22-8/25	1
	合併とこれからの市町村行政	8/22-8/25	1
	人事管理事務	10/11-10/20	1
	自治体管理職のための危機管理	10/31-11/2	1
	災害に強い地域づくり	12/12-12/20	1
四日市市	新任係長級パワーアップ研修	4/11 4/12 5/26	3
	企業経営感覚養成研修	4/19	3
	新任課長補佐級パワーアップ研修	4/18 4/19	5
	トレーナー研修	4/21	1
	新任課長級パワーアップ研修	4/25 4/26	3
	管理職候補者チャレンジ⑤研修	5/25 8/21 9/11 9/20	6
	官民交流セミナー	7/4 7/5	1
	自治会館組合「話し方講座」	8/2 8/23	1
	ステージ2 30歳年齢別研修	8/1 8/2	7
	ステージ3 35歳年齢別研修	8/23 8/24	4
	男女共同参画推進員研修	7/31	9
	部落開放研究全国集会	9/30-10/2	1
	消防職員安全衛生研修会	10/24-25	1
	職場研修推進員全体研修	7/3 3/15	8
	クレーム対応能力養成研修	1/11	2
	アカウンタビリティ能力養成研修	1/12	3
	自治会館組合「人材育成セミナー」	1/15-1/16	1
	文化のまちづくり研修	9/29	5
	人権・同和問題フォローアップ研修	7/13	3
	コーチング研修	5/15、22・5/16、23	3
	災害派遣医療チーム研修	1/22-1/25	1
資格取得研修	大型自動車運転免許	5/23-取得まで	3
	潜水士免許	6/6、7	1
	2級小型船舶操縦士免許	11/21-22 11/28-29	1
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任講習	12/6-8	3
	小型移動式クレーン運転技能講習	5/31-6/1、6/4	2
	第2種衛生管理者	9/28	1
	副安全運転管理者講習	6/6	3
	予防技術資格者	3/11	9
	消防本部研修	新規採用職員研修	4/3-4/7 5/2 10/6 10/10-10/13
救急救命士就業前病院研修		4/1-4/30 1/4-2/1	2
救急救命士気管挿管病院実習		10/1-12/28	1
救急救命士薬剤投与病院実習		9/14-9/21	2
救急科救急課程修了後病院研修		1/16 1/17	13
救急科救急II課程修了後病院研修		2/26-2/27	15
救急救命士救急用自動車同乗研修		1/16	1
視察研修	危険物火災現場視察(市原市)	5/12	2
	光地区消防組合消防本部庁舎視察(光市)	6/15-16	2
	違反是正先進地視察(生駒市)	7/13	2
	化学防護隊視察(名古屋市)	10/30	4
	救急ワークステーション視察(札幌市)	2/15-16	2
その他機関	事故防止対策セミナー	11/17	1
	新技術等情報セミナー	12/8	1
	事故事例セミナー	2/22	1
	火災原因調査基礎講座	11/13 11/14	1
	消防職員IT研修会	12/20	1
	総務関係実務研修会	10/19	1
	消防実務講習会	2/1	4
	救急コ・メディカルセミナー	11/9-10	7
	日本救急医学会中部地方会 学術総会	6/4	1
	四日市市消防職員意見発表会	3/1	7
	JPTECプロバイダーコース	7/1	2
	消防長研修会	8/18・9/8	1
	自動車損害共済事務説明会	6/6	1

平成18年度主要記録

年	月	日	主な記事	日	その他の記事
18	4	7	初任科生入校 於:三重県消防学校 第43期生 13名が入校、12月5日卒業。	14	三重県消防職員意見発表会(津市)
	5	16	市民防災隊連絡協議会総会	11	北勢5消防本部による通信指令業務の共同運用及び行政経営品質向上のための勉強会
	15・16		防火管理講習 甲種防火管理講習94名、乙種防火管理講習11名が受講		
	18		防火協会総会		
6	1～30		危険物安全管理強調月間 月間中にコンビナート事業所を対象に本部で「防災診断」及び危険物保有事業所等を対象に各署で立ち入り検査及び消防訓練		
	9		優良危険物事業所表彰 平成18年度優良危険物事業所の4事業所を消防長表彰	19	消防安全衛生委員会安全衛生委員会
	22・23		防火管理講習 甲種防火管理講習75名、乙種防火管理講習17名が受講		
6	28		消防安全衛生委員会安全衛生研修会 「結核について」四日市保健所 中村睦子 三重県四日市保健福祉部 市川 理恵子 受講者数 14名		
7	12		安全衛生講演会 「スポーツと健康づくり」 教育委員会スポーツ課山田源嗣氏	10	四日市市及び桑名市消防通信指令事務協議会発足
7	16		第43回消防団消防操法競技大会及び防災フェスタ 於:中央緑地公園 24分団が出場し競技を実施 第1位: 橋北分団 第2位: 海上分団 第3位: 保々分団	22	三重県消防操法大会 於:三重県消防学校
8	27～		各地区の自治会等で地区訓練を実施	4	第35回消防救助技術東海地区指導会 於:三重県消防学校 6種目20名が出場
	9	3	市民総ぐるみ防災訓練 於:四日市大学	8	第1回 四日市市及び桑名市消防通信指令事務協議会 於:四日市市消防本部
				10	三重県総合防災訓練(県内相互応援隊) 於:松阪市他

		メイン会場に住民約1300人のほか、防災関係機関約120名、車両約50台が参加し、避難誘導、伝達、広報、交通対策、人命救助、火災防御訓練等を実施			
	10	26・27 防火管理講習 甲種防火管理講習122名、乙種防火管理講習52名が受講		9.10 救急コ・メディカル 於:名古屋市	
				13 消防安全衛生委員会	
				21 三重県救急隊員技術発表会 於:四日市市	
				22 消防職員委員会	
	11	2 特別消防訓練 イオン四日市北ショッピングセンター		10・5 三重県警防技術交換会 於:三重県消防学校	
		9～15 秋の火災予防運動		25・26 緊急消防援助隊中部ブロック訓練 於:常滑市りんくう町一帯	
		11 防火ポスター・防火習字の入選者の表彰 管内の園児及び小・中学生を対象に防火ポスター・防火習字を募集し、入選者の表彰式を実施。		21 三重県救急隊員技術発表会 於:四日市市	
	12	16 タンク付消防ポンプ自動車CD I 型(水沢分団に配備)			
		29～30 年末特別警戒		1 四日市市消防支援隊研修会	
19	1	14 平成19年消防出初式 於:四日市ドーム 市民に対し消防力を披露し防火防災意識の普及啓発を図るため実施		7 朝日町・川越町合同出初式 於:朝日町立朝日小学校	
		26 第53回文化財防火デー 文化財愛護思想と防火防災思想の高揚と貴重な文化遺産を後世に継承するため		9 消防長研修会「惨事ストレスについて」 於:三重県消防学校	
	2	14～16 防火管理講習 甲種防火管理再講習52名、甲種防火管理新規講習118名、乙種防火管理講習36名が受講		5 第2回 四日市市及び桑名市消防通信指令事務協議会 於:四日市市消防本部	
		27 特別消防訓練 (株)中部近鉄百貨店四日市店で実施			
	3	1～7 春の火災予防運動		1 四日市市消防職員意見発表会	
		9 救助工作車(ポンプ付)(南消防署に配備)		16 国民保護協議会	
		26 高規格救急車(北西救急分駐所)		28 消防のあり方検討会・臨時消防長会 於:尾鷲市	
				30 四日市市管内119番回線切替工事 (消防指令センター仮運用開始)	

平成19年度消防重点事業

1. (仮称) 四日市市中消防署中央分署整備事業

安心・安全なまちづくりに向けて、消防力の強化と救急体制の充実をはかるため「8分消防5分救急」に沿って新分署の整備を行う。平成20年12月開設に向けて、本年度は新分署の建設工事に着手するとともに、開設に必要な職員の採用育成を行う。

2 新消防通信指令システム共同運用事業

桑名市と共同で平成18年度に高機能消防通信指令システムを共同構築、平成19年4月から消防指令センターとして正式運用を開始した。本年度は、運用にかかる経費を共同負担するとともに、四日市市消防本部指令室の残存機器を撤去し、警防本部体制及び指揮支援体制の充実強化を図るため本部庁舎の改修工事を行う。

3 大規模災害対策事業

強いまちづくりのため、訓練を通じて自主防災組織の自主的な取組みの支援を行うとともに、大規模地震発生時の消防水利確保のため耐震性貯水槽を4基設置し、消防水利の二重化を図り火災の延焼拡大防止に万全を期す。また、消防職団員OBの組織化を更に進めて地域における総合防災力を高める。さらに、緊急消防援助隊が大規模災害時に有効に機能するよう県内あるいは県域をこえた合同訓練に積極的に参加し、広域応援体制に万全を期す。

4. 消防車両・活動機器整備事業

北消防署の老朽化した屈折はしご車をNOX・PM法に対応した先端屈折型の最新鋭はしご車に更新し、消火・救助活動の効率化と被害の軽減に努める。また、平成4年度に朝日川越分署に配備した水槽付消防ポンプ自動車は老朽化が進み、平成3年配備の常磐分団車とともにNOX・PM法により使用期限が到来するためそれぞれ更新する。さらに、大規模危険物火災に対応する泡消火薬剤を計画的に備蓄するため、中消防署の仮設訓練棟を薬剤タンク（容量 60,000ℓ）内臓型の補助訓練塔として再建する。一方で、消防団員の防火外套を3年計画で活動性の高いものに更新し、消防団員の活動負担の軽減と安全性の向上を一層図る。

5. 火災予防事業の推進と住宅用火災警報器設置

「一人暮らしの高齢者宅等の死者抑制対策基本方針」に基づき、住宅用火災警報器を平成18年度1400個、本年度4200個、健康福祉部と共同購入し、防災指導員が診断時に高齢者宅に設置して、火災による死傷者の低減を図り火災予防を行う。

6. 救急業務の高度化事業と応急手当の普及啓発事業

平成4年から行っている救急救命士の養成を継続実施すると共に、救命士の薬剤投与、気管挿管研修に積極的に派遣し資質の向上を図ると共に、一般救急隊員の教育訓練、AED取扱いを含めた応急手当普及啓発事業を継続して推進する。

相 互 応 援 協 定

当該市町村だけでは対処し得ない大規模広域災害や市町村境界付近で発生した災害等に対し、応援協定を締結して、円滑有効な防ぎよ活動を実施し、災害による被害を最小限にとどめようとするため、本消防本部においては下記に示すとおり各市町村と応援協定を締結し、消防力の効率的な運用を図っている。

(1) 消防相互応援協定

協 定 名	締 結 年 月 日	協 定 市 町 村
三重県内消防相互応援協定	平成19年3月1日 締結	四日市市長以下県内29市町村長、5消防組合管理者及び三重県知事

(2) 船舶消防に関する応援協定

協 定 名	締 結 年 月 日	協 定 市 町 村
船舶に関する業務協定	昭和46年5月24日締結	四日市市消防本部、四日市海上保安部

(3) 高速道路における消防応援協定

	締 結 年 月 日	協 定 市 町 村
高速自動車国道近畿自動車道名古屋・関線、名古屋・神戸線、伊勢線及び尾鷲勢和線にかかる消防相互応援協定	平成18年3月6日締結	四日市市・津市・伊勢市・松阪市・桑名市・鈴鹿市・亀山市・木曾岬町・朝日町・川越町・多気町・玉城町・大台町・大紀町・松阪地区広域消防組合・紀勢地区広域消防組合